

陶芸館・考古資料館連携企画展「鉄を活かす人びと」I

鉄とやきもの

令和6年

9月20日(金)～11月17日(日)

富山市陶芸館 (富山市民俗民芸村内)

富山市安養坊50 TEL 076-433-8610

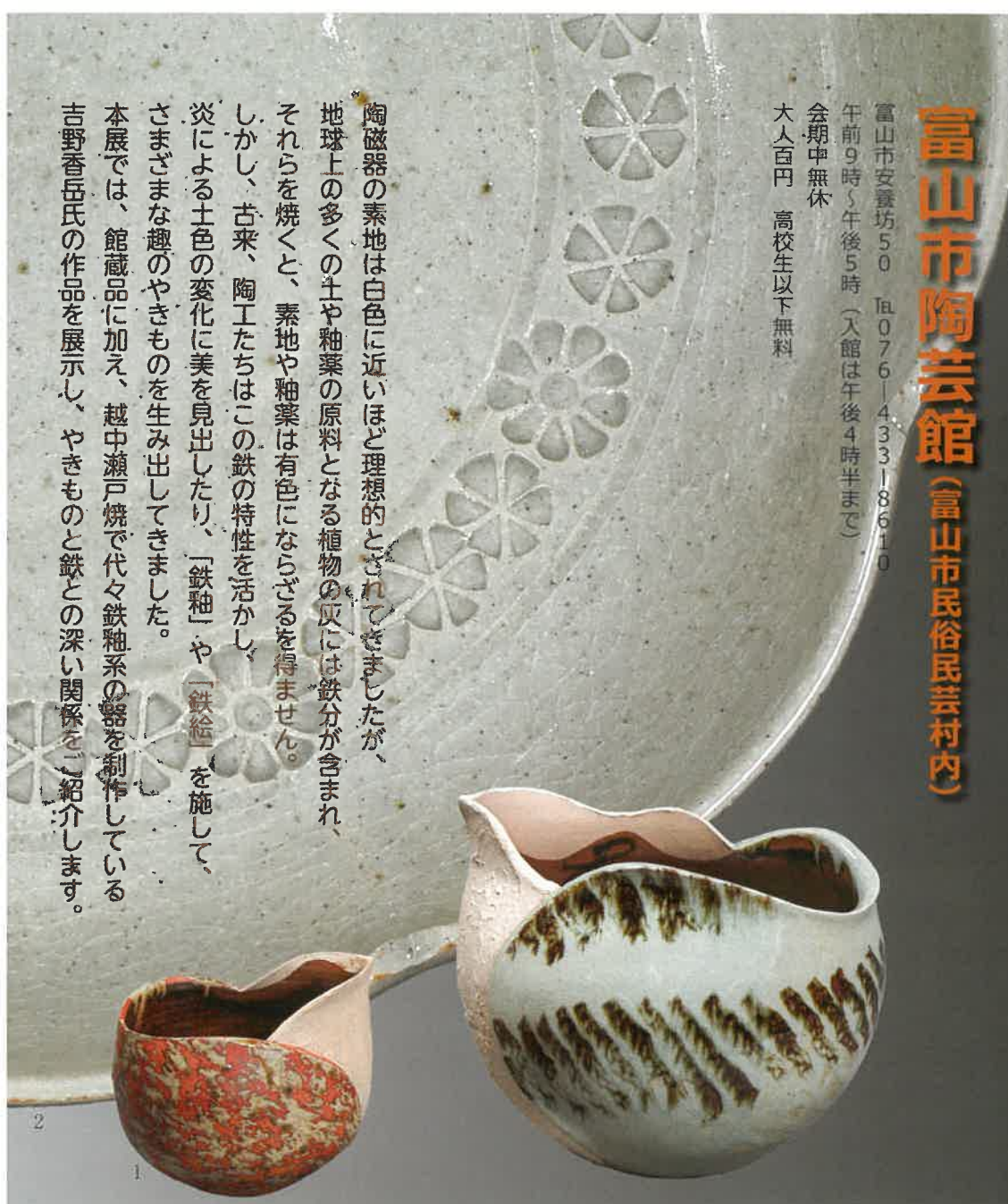
午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)

会期中無休

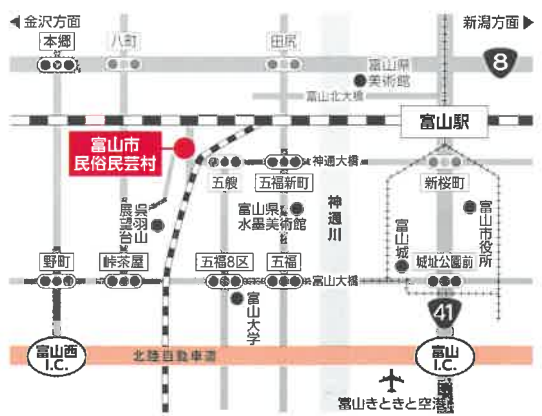
大人100円 高校生以下無料



陶磁器の素地は白色に近いほど理想的とされてきましたが、地球上の多くの土や釉薬の原料となる植物の灰には鉄分が含まれ、それらを焼くと、素地や釉薬は有色にならざるを得ません。しかし、古来、陶工たちはこの鉄の特性を活かし、炎による土色の変化に美を見出したり、「鉄釉」や「鉄絵」を施して、さまざまな趣のやきものを生み出してきました。本展では、館藏品に加え、越中瀬戸焼で代々鉄釉系の器を制作している吉野香岳氏の作品を展示し、やきものと鉄との深い関係をご紹介します。



8 7 6 5 4 3



よしのころがく
■吉野香岳氏(越中瀬戸焼陶芸家・富山県「伝統工芸の匠」)と学芸員による
ギャラリートーク
10/18(金) 午後2時～3時 観覧料のみ必要、申込不要

■交通案内
車/JR富山駅から約10分、富山IC・富山西ICから約20分(駐車場無料)
富山地鉄バス/富山駅前の番のりばから乗車 新桜谷町行き安養坊または富山市民俗民芸村下車徒歩5分

- 写真
- 1 吉野香岳「LOTUS」 越中瀬戸焼(富山県)2023年
 - 2 吉野香岳「灰釉印花輪花皿」越中瀬戸焼(富山県)2023年
 - 3 伊藤赤水「紫菱花入」無名異焼(新潟県佐渡市)1980年頃
 - 4 伊勢崎淳「備前角皿」(岡山県)1980年頃
 - 5 石黒宗麿「柿釉壺」(京都府)1940年代
 - 6 秦 豊秋「鉄釉線文皿」(富山県)1995年頃
 - 7 堀 一郎「志野 德利・ぐい呑」(岐阜県)1980年頃
 - 8 田村耕一「鉄絵銅彩椿文壺」(栃木県)1970年代
- (1・2は個人所蔵、3～8は富山市陶芸館所蔵)

打出遺跡と 弥生時代の 鉄器づくり

9/28(土)―12/1(日)

富山市考古資料館(富山市民俗民芸村内)

富山市安養坊47-2 TEL.076-433-8634

午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで) 会期中無休

大人100円 高校生以下無料



〈写真〉
焼却処分された打出遺跡の土屋根竈建物跡(弥生時代終末期)と
その模型(右上)(いずれも富山市埋蔵文化財センター提供)



▲打出遺跡の鍛冶具・鉄素材・生成副産物(一部)
(富山市埋蔵文化財センター所蔵)

本展では、富山市の海岸部(倉垣地区)に位置する打出遺跡に注目し、北陸各地の弥生時代遺跡との比較から、とやまの鉄器づくりの実像をご紹介します。

ふるさとの歴史や当時の技術などに思いを巡らせていただければ幸いです。



打出遺跡の鉄器づくり(イメージ)

鉄鍛などを
作っとな
ようじゃな



パン館

考古資料館のキャラクターもお待ちしています!

ホームページも
見てね!



カガミ



▲一針B遺跡の鍛冶滓・鑄羽口・砥石・鑄型外枠・取瓶・土器
(石川県埋蔵文化財センター保管)



▲塚崎遺跡出土鉄器(玉作工具・剣・方形板刃先)
(石川県埋蔵文化財センター保管)

主な展示品

- ①石川県小松市一針B遺跡から出土した鍛冶関連遺物、青銅器鑄造関連遺物
- ②石川県金沢市塚崎遺跡から出土した鉄器、玉つくり関連遺物
- ③石川県白山市・野々市市徳丸ジョウジャダ遺跡および石川県七尾市奥原遺跡から出土した鉄器
- ④富山県小矢部市五社遺跡から出土した鍛冶関連遺物

■学芸員による解説講座

「打出遺跡と弥生時代の鉄器づくり」

10/6(日) 午前10時～11時30分

富山市民俗民芸村管理センター講座室・当館

※講座後、展示解説会があります。 申込不要

■同時開催(富山市民俗民芸村内)

- ・売薬資料館 ～2025.1/26企画展「福神さまの姿」
- ・望牛人記念美術館 ～11/4館藏品展133「望牛人の塑像と色彩の世界」、11/9～2025.3/2館藏品展134「望牛人の湯筆」
- ・民芸館・民芸合掌館 ～11/24企画展「単筒の美」
- ・民俗資料館 10/3～12/8特別展「茅葺ウグイス造りと人びとの暮らし」
(7館共通券大人530円、高校生以下無料)